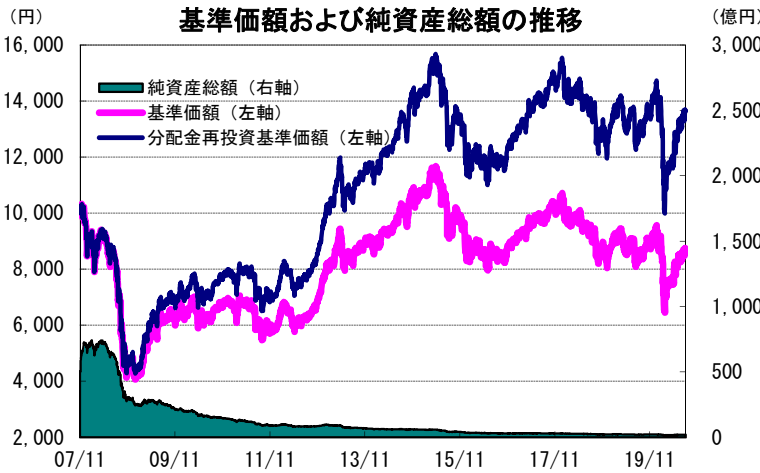


スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)

基準日 2020年08月31日



* 当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。
* 当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

設定日	2007年11月30日
信託期間	2027年11月10日まで
決算日	毎年1月、3月、5月、7月、9月、11月の各10日(休業日の場合は翌営業日)

基準価額	8,715円
純資産総額	19.03億円

ファンドの資産配分	
SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド	97.2%
スパークス・マネー・マザーファンド	0.5%
現金等	2.3%

【ご参考】

基準価額変動の要因分解(月次ベース)			
基準価額変動金額			506円
内訳	株式等	アジア太平洋地域	333円
		中東地域	14円
	為替		113円
	その他		46円

* 金額は対象期間における基準価額(分配金込み)の変動を表したものです。
* 上記は参考情報として当社が算出した概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。

* 基準価額は信託報酬控除後の値です。信託報酬には、投資対象とする投資信託分を含みます。
* 分配金再投資基準価額は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金(税引前)を再投資したものと計算した理論上のものであり、実際の投資家利回りとは異なる点にご留意下さい。

騰落率	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
	3.85%	15.64%	3.24%	8.43%	-3.04%	36.50%

* 基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資し、計算しています。

分配金実績(税引前)

決算期	第65期	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期
	18/9/10	18/11/12	19/1/10	19/3/11	19/5/10	19/7/10	19/9/10	19/11/11	20/1/10	20/3/10	20/5/11	20/7/10
分配金	45円	45円	45円	45円	45円	45円	45円	45円	45円	45円	45円	45円

分配金累計	直近12期計	設定来合計
	540円	3,450円

ポートフォリオの配分

国・地域別配分

	国・地域	比率	比率
	アジア太平洋	香港	26.3%
台湾		18.0%	
中国		16.8%	
オーストラリア		13.8%	
その他		21.1%	
中東	UAE	1.3%	1.8%
	サウジアラビア	0.5%	
現金等	—	2.2%	2.2%
合計		100.0%	100.0%

通貨別配分

通貨	比率
1 香港ドル	40.0%
2 台湾ドル	18.4%
3 豪ドル	14.2%
4 韓国ウォン	7.9%
5 中国元	4.1%
その他	15.4%
合計	100.0%

業種別配分

業種	比率
1 情報技術	22.0%
2 金融	18.9%
3 生活必需品	14.6%
4 一般消費財	13.4%
5 コミュニケーション	10.3%
その他	20.8%
合計	100.0%

* 業種は世界産業分類基準(GICS)の分類に基づきます。

* スパークス・アジアの内部データを元に、スパークス・アセット・マネジメントが作成。
* 比率はSPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンドを100%とした場合の構成比です。
* P-NOTEやADR等に投資している銘柄の通貨は、現地通貨ベースで算出しています。
P-NOTEとは、株式や株価指数の価格変動に運用成果が連動する債券のことです。
ADRとは、主に米国で取引される、株式を代替する預託証券のことです。

■ 当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■ 当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合があります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■ 投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■ 投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■ 当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■ 当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■ 当資料の正確性及び完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■ 当資料は目的によらず、当社の許可なく複製・複写することを禁じます。■ 当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

スパークス・アジア中東株式ファンド(資産成長型)

基準日 2020年08月31日

基準価額および純資産総額の推移



* 基準価額は信託報酬控除後の値です。信託報酬には、投資対象とする投資信託分を含みます。
* 分配金再投資基準価額は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金(税引前)を再投資したものと計算した理論上のものであり、実際の投資家利回りとは異なる点にご留意下さい。

騰落率	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
	3.70%	14.80%	3.28%	8.06%	-2.18%	171.82%

* 基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資し、計算しています。

* 当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。
* 当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

設定日	2008年11月12日
信託期間	2027年11月10日まで
決算日	毎年11月10日 (休業日の場合は翌営業日)

基準価額	27,182円
純資産総額	0.26億円

ファンドの資産配分	
SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド	91.4%
スパークス・マネー・マザーファンド	0.0%
現金等	8.6%

【ご参考】

基準価額変動の要因分解(月次ベース)			
基準価額変動金額			969円
内訳	株式等	アジア太平洋地域	665円
		中東地域	28円
	為替		226円
	その他		50円

* 金額は対象期間における基準価額の変動を表したものです。

* 上記は参考情報として当社が算出した概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。

分配金実績(税引前)

決算期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期	第11期
	10/11/10	11/11/10	12/11/12	13/11/11	14/11/10	15/11/10	16/11/10	17/11/10	18/11/12	19/11/11
分配金	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円

分配金累計	直近10期計	設定来合計
	0円	0円

ポートフォリオの配分

国・地域別配分

	国・地域	比率	比率
アジア太平洋	香港	26.3%	96.0%
	台湾	18.0%	
	中国	16.8%	
	オーストラリア	13.8%	
	その他	21.1%	
中東	UAE	1.3%	1.8%
	サウジアラビア	0.5%	
現金等	-	2.2%	2.2%
合計		100.0%	100.0%

通貨別配分

通貨	比率
1 香港ドル	40.0%
2 台湾ドル	18.4%
3 豪ドル	14.2%
4 韓国ウォン	7.9%
5 中国元	4.1%
その他	15.4%
合計	100.0%

業種別配分

業種	比率
1 情報技術	22.0%
2 金融	18.9%
3 生活必需品	14.6%
4 一般消費財	13.4%
5 コミュニケーション	10.3%
その他	20.8%
合計	100.0%

* 業種は世界産業分類基準(GICS)の分類に基づきます。

* スパークス・アジアの内部データを元に、スパークス・アセット・マネジメントが作成。
* 比率はSPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンドを100%とした場合の構成比です。
* P-NOTEやADR等に投資している銘柄の通貨は、現地通貨ベースで算出しています。
P-NOTEとは、株式や株価指数の価格変動に運用成果が連動する債券のことです。
ADRとは、主に米国で取引される、株式を代替する預託証券のことです。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)/(資産成長型)

基準日 2020年08月31日

組入上位銘柄

組入銘柄数	37
-------	----

NO	銘柄名	Pnote	国・地域	業種	組入比率	配当利回り
1	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltd		台湾	情報技術	8.4%	2.5%
2	AIA Group Ltd		香港	金融	7.5%	1.6%
3	Tencent Holdings Ltd		中国	コミュニケーション・サービス	6.6%	0.3%
4	Hong Kong Exchanges & Clearing Ltd		香港	金融	5.0%	1.9%
5	Transurban Group		オーストラリア	資本財・サービス	5.0%	3.1%
6	Samsung Electronics Co Ltd		韓国	情報技術	4.6%	2.7%
7	CSL Ltd		オーストラリア	ヘルスケア	4.5%	1.0%
8	MediaTek Inc		台湾	情報技術	4.3%	2.4%
9	KWG Group Holdings Ltd		香港	不動産	4.0%	7.0%
10	Aristocrat Leisure Ltd		オーストラリア	一般消費財・サービス	3.2%	0.1%

* 上記の銘柄の中には現株を含みます。
* 個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。
* 上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。

* 比率はSPARKX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンドを100%とした場合の構成比です。
* 配当利回りは12ヶ月配当利回り(税引前)です。
* 業種は世界産業分類基準(GICS)の分類に基づきます。

地域別組入上位銘柄の概要

アジア・太平洋地域

アジア太平洋	銘柄名	Pnote	国・地域	銘柄概要
1	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltd		台湾	台湾積体回路製造 [TSMC/台湾セミコンダクター] (Taiwan Semiconductor Manufacturing Company Ltd.) は半導体メーカー。ウエハー製造、プロービング、組み立て、テストのほか、マスクの製造、設計、関連サービスを提供。同社の IC (集積回路) はコンピュータ、通信、消費者向け電子製品、自動車、産業機器などに使用される。
2	AIA Group Ltd		香港	友邦保険控股 [AIAグループ] (AIA Group Ltd.) は生命保険および金融サービス会社。個人・企業向け生命保険、傷害疾病保険、年金プランならびに健康管理サービスを提供。
3	Tencent Holdings Ltd		中国	騰訊 [テンセント・ホールディングス] (Tencent Holdings Limited) は投資持株会社。中国、米国、欧州などのユーザーにインターネットおよびモバイル付加価値サービス (VAS)、オンライン広告サービス、電子商取引サービスを提供する。
4	Hong Kong Exchanges & Clearing Ltd		香港	香港交易及結算所 [香港証券取引決済所] (Hong Kong Exchanges & Clearing Limited) は、株式取引所、先物取引所、および関連クリアリング・ハウスを運営。取引を処理するための設備を有し、現物ならびにデリバティブ商品などを幅広く取り扱う。
5	Transurban Group		オーストラリア	トランスアーバン・グループ (Transurban Group) は道路建設会社。Melbourne City Linkと有料道路 Hills Motorway M2 を運営する。料金システムの電子化と設営も手掛ける。

中東地域

中東	銘柄名	Pnote	国・地域	銘柄概要
1	First Abu Dhabi Bank PJSC		UAE	ファースト・アブダビ・バンク (First Abu Dhabi Bank PJSC) は銀行。預金、個人向けローン、e-バンキング、貿易金融、外貨取引、その他の銀行サービスを手掛ける。世界各地で事業を展開。
2	Saudi British Bank/The		サウジアラビア	サウジ・ブリティッシュ・バンク (Saudi British Bank) は、預金業務、リテールおよびコマース・バンキング・サービスを提供。消費者・シンジケートローン、仕組み債、プロジェクト金融、証券仲介、ファイナンシャル・プランニング、プライベート・バンキング、ミューチュアルファンド、ファクタリング、財務サービスなどを手掛ける。

* 上記は個別銘柄の取引を推奨するものではありません。
* 上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。
* 出所: 各社ホームページ

* 上記はSPARKX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンドの組入上位銘柄です。
* ADRとは主に米国で取引される、株式を代替する預託証券のことであり、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合があります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)/(資産成長型)

基準日 2020年08月31日

コメント

■市場環境

《アジア株式》

当月、アジア株式市場はまちまちの値動きでした。香港、中国、インドなどが株価上昇を牽引する一方で、マレーシア、タイ、台湾などは下落しました。

世界の投資家心理はテクノロジー関連セクターの株価上昇、新型コロナウイルスのワクチン開発の進展、潤沢な流動性資金によって引き続き支えられました。米国がHuawei社(中国)のサプライヤー(商品の部品などの供給企業)に対する制限を一段と強化し、TikTok社(中国)に米国事業の売却を要求したため、米中関係の緊張が続きました。こうした緊張を取り巻く不確実性を背景に、アジア地域の一部のテクノロジー関連企業の株価は乱高下しました。

中国経済は引き続き回復し、国内の経済活動はほぼ正常に戻りました。マカオは中国本土からの訪問客の受け入れを徐々に再開しており、明るい見通しを受けてマカオのカジノ関連銘柄の株価は上昇しました。新規株式公開(IPO)に対する関心は強く、中国株式市場に参加する個人投資家も増加しました。

インド株式市場は、新型コロナウイルスの感染状況が悪化しているにもかかわらず堅調でした。インド準備銀行(中央銀行)は金融緩和政策によって引き続き経済を下支えし、銀行による一部融資の不良債権分類に返済猶予を与えました。ASEAN地域の株式市場は相対的に軟調でした。

フィリピンは未だに新型コロナウイルス感染拡大抑制に取り組む一方、タイは感染拡大の抑制にはある程度成功しているものの、観光関連セクターの再開に難しさを抱えています。

《中東株式》

当月、中東株式市場は堅調に推移しました。

原油価格が引き続き回復する一方で、新型コロナウイルスのワクチン開発進展期待を受けて投資家心理が改善しました。

《通貨》

当月、大半のアジア通貨は対日本円で上昇しました。

アジア通貨の中で、オーストラリアドル、マレーシアリングギット、フィリピンペソなどが対日本円で特に上昇しました。

■運用状況

《アジア株式》

当月、当ファンドが保有する株式のリターンは、プラスとなりました。

セクター別では、金融セクター、一般消費財セクター、生活必需品セクターなどが当月のパフォーマンスにプラスに寄与し、一方で、情報技術セクターなどがマイナスに影響しました。

国別では、香港、中国、オーストラリアなどがプラスに寄与し、台湾などがマイナスに影響しました。

銘柄別では、AIA Group Ltd(香港/金融)、China State Construction(香港/資本財)、CSL Ltd(オーストラリア/資本財)などが、プラスに寄与しました。一方で、Mediatek Inc(台湾/情報技術)、Samsung Electronics Co Ltd(韓国/情報技術)、eMemory Technology Inc(台湾/情報技術)などが、マイナスに影響しました。

当月、パフォーマンスに寄与した銘柄の一つに、China State Construction International(香港/資本財、以下「GSCI」)があります。

GSCIは、インフラ建設の中国国営企業で、香港やマカオのインフラプロジェクトから強固で安定したキャッシュフローを挙げてきた長年の実績があります。過去10年にわたり、GSCIはさらなる成長と利益率を求めて、中国本土に事業を拡大しました。香港に上場する国営企業であるGSCIは競合他社に比べ、①財務の柔軟性(香港または中国本土のいずれかで資金を調達可能)、②中国本土でプロジェクトを選別するための「現地ノウハウ」という、二つの差別化要因による他社優位性を持っています。

GSCIの2020年上期売上高(1-6月)は約280億香港ドル(前年同期比+1.7%、約3,800億円)、純利益は約29億香港ドル(同-1.3%、約390億円)でした。2020年第1四半期(1-3月)は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けましたが、2020年第2四半期(4-6月)には中国経済が大幅に回復し、建設工事の遅延を取り戻すことができました。GSCI経営陣は、二桁の利益成長および新規受注1,100億香港ドル(約1.5兆円)という通期目標の達成に引き続き自信を持っています。

GSCIに関する投資家の懸念の一つは、中国事業の成長を支えるために必要な多額の資本要件です。GSCIのキャッシュフローおよび負債比率は過去数年間で悪化しています。GSCI経営陣はそうした懸念を理解しており、キャッシュサイクルの比較的短いプロジェクトに入札し、成熟したプロジェクトを売却することで、キャッシュフローの管理改善に積極的に取り組んでいます。当ファンドは、経営陣は正しい方向に進んでいると考えており、近い将来の財務改善を予想しています。

GSCIは、プレハブ建築の大手企業でもあります。同社は粵港澳大湾区、東沿岸部、西部地域に6か所のプレハブ部品工場を所有しています。プレハブ建築は従来型の工法と比較して建設期間が最大30%短縮するため、近年人気が高まっています。この工法は粗利益率も高くなっています。このことが、長い年月で蓄積した他の建設技術と共に同社の競争力を引き続き高める、と当ファンドは考えています。

(次ページへ)

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なく複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)/(資産成長型)

基準日 2020年08月31日

コメント

(前ページより)

当ファンドは、引き続き既存の投資先を注視し、また今後の投資先候補の企業に関する調査も継続することで、優れたビジネスモデル、良好なバランスシート、持続的な成長の見通しを備えた優良企業を選別していきます。

《中東株式》

First Abu Dhabi Bank (アラブ首長国連邦/金融)とSaudi British Bank (サウジアラビア/金融)は、世界的な投資家心理の改善を受けて、当月のパフォーマンスにプラスに寄与しました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、中東地域における不良債権リスクは高まっており、手元資金の確保と自己資本比率の維持を目的に、減配が行われる可能性があります。

《通貨》

当月、アジア地域および中東地域の通貨の多くは、対日本円で上昇しました。当月の全体的な為替変動は、当ファンドのリターンにプラスに貢献しました。

■今後の見通し

《アジア株式》

新型コロナウイルス感染拡大による企業業績へのダメージは、2020年上期業績(1-6月)に概ね反映されています。景気回復は、政府および中央銀行による強力な政策支援に支えられています。多くの国・地域では、6カ月前に比べて、新型コロナウイルス感染拡大の第二波に対応する準備ができています。ただし、ワクチンが利用できるようになるまで、経済が完全に再開される可能性は依然として低いと私どもは考えます。

米中関係の緊張は再び高まっており、米国大統領選挙を控えてさらに悪化するとみられます。貿易環境の悪化に対抗するため、中国政府は他国に対して開放政策を維持しつつ、国内経済の重要性を強調する「双循環」政策を掲げました。これは、半導体、AI(人工知能)、その他の先進技術分野などの戦略的に主要な分野において、現地生産・代替が加速している傾向と整合するものです。こうした分野には長期的に魅力的な投資機会があると私どもは考えています。

タイにとって最も重要なセクターの一つである観光業は、外国人が再び旅行するようになるには時間がかかるため、低迷が続いています。ただし、一部の国では国内旅行が回復しています。中国では、大半の人が休日を国内で過ごすことを選択しているため、国内のホテルの客室稼働率やフライト旅客数は改善しています。

生活様式のデジタル化という流れは、新型コロナウイルス感染拡大収束後も続くでしょう。当ファンドは引き続き、電子商取引、教育、ゲーム、配達などのオンラインサービスに投資機会があると考えています。消費者の支出行動におけるこうした変化は、投資対象となる新たな企業を見出す手がかりとなるでしょう。

人口構成による下支え、消費行動の変化、インフラ支出、新たなセクター/市場の発達といったアジア地域の構造的トレンドは、長期的な投資を行って利益を獲得する機会を潤沢に提供してくれます。私どもは、消費、インフラ、技術革新といった長期的テーマの恩恵に浴する優良企業に注目することで、不確実な情報に惑わされて不合理で短絡的な取引をすることのないように心掛けてまいります。アジア地域はこうした長期的かつ構造的なトレンドを活かせる質の高い投資先候補銘柄が多数存在する有望市場であると、私どもは考えます。

《中東株式》

原油市場の価格変動が激しく、地政学的リスクがあることから、当ファンドは中東の株式市場を慎重に見ています。

原油価格が反発したことで多少の安心感があるとはいえ、経済成長の減速や財政収支の悪化は依然として投資家心理に影を落としています。銀行セクターは短期的に不良債権への圧力に直面する可能性があります。長期的には、銀行セクターのM&A(企業買収・合併)が引き続き中東地域の主な投資テーマの一つになるでしょう。当ファンドは、金融セクターの保有銘柄を引き続きポジティブに見ています。

《通貨》

通貨は、短期的には資本フローの影響によって大きく変動すると思われませんが、長期的観点で見ると、アジア地域および中東地域の経済のファンダメンタルズは力強いいため、両地域の通貨は対日本円で上昇すると私どもは考えています。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合があります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的にせず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。